

第12回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会のお知らせ

令和6年9月吉日

第12回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会 会長

北九州総合院 整形外科 副院長 福田文雄

拝啓 秋晴が心地よい今日この頃、皆様ますますご清栄のことと存じます。

この度、北九州国際会議場にて2025年3月7日（金）8日（土）、「第12回日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会」開催させていただきます。

2022年4月より大腿骨近位部骨折に対し緊急手術加算や二次性骨折予防継続管理料の算定が追加され、それには一般財団法人日本脆弱性骨折ネットワークに施設登録することが必要となっております。2024年9月時点で施設登録数は600施設を超え、2023年度大腿骨近位部骨折の登録数は40,000症例を超えました。

本学術集会には登録施設であれば3名まで無料で参加できます。
本学会では下記のシンポジウム、セッションを企画しています。

教育委員会 企画

- ・骨折リエゾンサービスって？基礎の基礎 「ベーシックコース」
- ・骨折リエゾンサービスで課題を抱えている施設「アドバンスコース」

データベース委員会 企画

- ・フォローアップ優秀病院の表彰・発表

学術・研究委員会 企画シンポジウム

- ・地域行っているサポート活動，マネージャーの会による「地域で広げる骨粗鬆症診療の輪」

その他、二次骨折予防における骨粗鬆症薬以外の「予防対策や地域連携の工夫や評価」、周術期管理として近年注目が高まってきている老年内科・総合内科による「コマネジメントセッション」、大腿骨近位部骨折の症例登録をおこなっている担当職種を対象に「データマネジメントセッション」など、学会参加しなければ得られない日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会ならではの企画を準備しています。

学会発表をして学術集会に参加しやすいように、一般演題口演・ポスターに加え、掲示のみの「簡易版ポスター」を設けました。自院の現時点でのFLS活動を分析・可視化できる「簡易版ポスター用テンプレート」を用意しましたので是非ご活用ください。学会発表をおこない学会出張として多職種複数人での参加をお待ちしています。

更り多き学会となりますよう皆様のご参加をお待ちしています。

敬具